

オンデマンド
開催

令和3年度 大阪府教育センター 研究フォーラム実施要項

テーマ



支える



育てる



つなげる

- 1 開催方法：オンデマンド開催
- 2 視聴期間：令和3年12月22日（水）～ 令和4年1月17日（月）
- 3 配信内容：8分科会ごとの講演、研究発表、実践発表等

4 趣 旨

教育研究、教育実践、研修成果の発表を行うことによって、本府の学校教育の向上に資する。

5 視聴方法・視聴申込み

- ・大阪府教育センター研究フォーラムのWeb ページに各分科会動画のYouTube のリンク及び資料を掲載します。

http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/information/forum/forum_overview.html

【大阪府内の学校園の教育関係者】：視聴申込み不要です。

11月8日（月）に、各所属先へ視聴用のユーザーID、パスワードを送付します。

【上記以外の方】：大阪府教育センター研究フォーラムのページから視聴申込みをしてください。

視聴用のユーザーID、パスワードをEメールで送付します。

申込み期間：11月8日（月）午後1時から令和4年1月13日（木）午後5時

6 視聴に関するユニバーサルデザインについて

- ・動画はYouTube の字幕に対応しています。
- ・講演、研究発表、実践発表等のスライドや資料はテキストファイル化し、動画配信開始後随時、掲載します。
- ・その他の動画視聴上の配慮に関するご相談は、下記にご連絡ください。
(大阪府内の学校園の教職員の方は管理職を通じてご連絡ください。)
大阪府教育センター研究フォーラム事務局 TEL 06-6692-1882 (内線 327)

7 分科会一覧 (敬称略)

1. 幼児教育に関わる教職員の育成指標について —公・私立、すべての園種・保育者が活用できるために—

すべての幼児教育施設での子どもたちの育ちや学びを小学校へ円滑につなげることをめざして、大阪府幼児教育センターでは、幼児教育に関わる教職員の育成指標を策定します。教職員育成や人事交流に関する公・私立の実践発表を通して、すべての園種の保育者の専門性向上と幼児教育の質の向上を支える体制づくりについての認識を深めるとともに、講演を通して、これからの幼児教育はどうあるべきか、各園所や地域で取り組むべきことなどについて、ともに考えていきましょう。

- 講演 「幼児教育に関わる教職員の育成指標」とこれからの幼児教育について
大方 美香 (大阪総合保育大学大学院教授)
- 実践発表 新任保育者の育成について
学校法人ひじり学園せんりひじり幼稚園
- 実践発表 人事交流を通じた教育・保育内容の相互理解について
吹田市 児童部 保育幼稚園室

2. 持続可能な開発目標 (SDGs) と人権教育

新型コロナウイルス感染症の拡大が子どもたちの生活に大きな影響を及ぼし、人権が脅かされやすくなっている今、課題の解決のために自分たちに何ができるのかを子どもたちと考えることが非常に大切です。そこでこの分科会では、子どもたちが身近な課題から仲間の思いや人権の大切さについて理解を深めていく実践例とともに、講演を通して、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、学校が果たす役割について考えます。

- 講演 「誰一人取り残さない」学校づくりに向けて 一つながる力を育てる反貧困学習—
前 比呂子 (追手門学院大学教授)
- 実践発表 ネット上の人権侵害をなくす力を育むために
茨木市立豊川中学校
- 実践発表 帰国・渡日の生徒を担当した経験から
府立柴島高等学校

3. 教育相談をアップデート！ —今日的課題への対応について—

近年、いじめ認知・不登校・児童虐待等の件数は増加傾向にあります。加えて、現代社会が変容する中で、SNSのトラブル増加や少子化による家族関係の変化等、子どもを取り巻く状況は大きく変わりました。また、コロナ禍に伴う生活環境の変化もあり、子どもの抱える問題は多様化、深刻化する傾向となっています。こうした様々な問題に対応し、子どもの支援へとつなげるため、今後求められる教育相談の観点について探っていきます。

- 報告 子ども支援につながる基本的姿勢について—今日的課題に即して—
大阪府教育センター 教育相談室指導主事
- 実践発表 多様な背景をもつ生徒の学校生活を支援する—予防的視点にたった取り組みを通して—
私立金光藤蔭高等学校
- パネルディスカッション 今日の課題に対応した支援
府立高等学校 教育相談指導教諭
- 講評・講演 今求められる教育相談とは
大阪府公立学校スクールカウンセラースーパーバイザー・臨床心理士 良原 恵子

4. 学校組織マネジメントと人材育成

経験の少ない教員の占める割合が高くなってきている中、校内における人材育成が課題となっています。このような中、校長が目的をもって機能的に組織を動かすことは、学校の課題を解決するとともに、その課題に取り組む人材を育成することに繋がります。今年度は、中学校、高等学校、支援学校の3校の学校組織マネジメントにおける人材育成の実践例をもとに、各学校における組織マネジメントの方策を考える上でのがかりを示し、学校における課題解決や人材育成の一助としたいと思います。

- 実践発表 エビデンスに基づいた学校組織マネジメント
岸和田市立春木中学校 校長 木實 広
- 実践発表 総合的な探究の時間を核とした組織マネジメントと人材育成
府立夕陽丘高等学校 校長 網代 典子
- 実践発表 教職員とともに創り実行する「学校経営計画」
—「巻き込み、任せ、人材育成する」ための仕掛け—
府立寝屋川支援学校 校長 福井 浩平
- 講評
大阪府教育庁教育振興室 副理事 福永 光伸

5. 1人1台端末環境における、「主体的・対話的で深い学び」の新たな展開

1人1台端末の導入に伴い、クラウドを基本とした即時的で双方向型のやりとりによって、学びの転換や一層の深化が期待されています。1人1台端末の活用が、生徒の資質・能力の育成にどのような効果をもたらすのか、具体的な実践例とともにご報告します。また、教育センターで収集した実践事例の分析をもとにして、教科横断的な視点で生徒の学習過程を改めて意識しながら、組織として授業改善に取り組んでいくことの重要性について考察します。

- 講演 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたICTの活用
石井 英真（京都大学大学院准教授）
- 実践発表 1人1台端末の活用を通じた組織的な授業改善の取り組み
府立桜塚高等学校
- 実践発表 1人1台端末の活用による生徒の資質・能力の育成と評価
府立豊中高等学校

6. 「資質・能力」の育成に資する指導と評価の在り方

学習指導要領の全面実施（小学校は昨年度、中学校は今年度）に伴い、子どもたちの資質・能力を育むためには、どのような視点で授業づくりを進めればよいのでしょうか。これからは、学校全体で育みたい「資質・能力」を定義し、カリキュラム・マネジメントを通して、計画的に身につけたい資質・能力を各教科や領域等で焦点化して育成していくことが必要となります。今回は、下記7つのテーマにおける授業づくりや校内研究推進等の実践発表、講演を通して、これからの授業の在り方について考えます。

- 実践発表 授業改善と学力向上をめざす組織づくり
—できることから少しずつ それぞれのストロングポイントを活かして—
【国語の授業づくりモデル小学校】東大阪市立意岐部小学校
- 実践発表 「チーム田原」でのつながりを大切にしたい授業づくり —誰ひとり取り残さない学校の実現へ—
【確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校】四條畷市立田原中学校
- 実践発表 「学び合い×ICT」—未来に生きる子どもを育む—
【スマートスクール実現モデル校】大東市立北条中学校
- 実践発表 子どもたちの豊かな学びを支える学校図書館づくり
【学校図書館を充実・活用するためのモデル校】吹田市立吹田第二小学校
- 実践発表 主体的な学びをめざした授業づくり —説明的文章を用いた授業での言語活動の工夫—
【小・中学校授業力向上リーダー養成長期研修 国語】高槻市立桃園小学校
- 実践発表 学習過程を意識した授業づくり —文学的文章「やまなし」の実践を通して—
【小・中学校授業力向上リーダー養成長期研修 国語】摂津市立鳥飼小学校
- 実践発表 学習指導要領を踏まえた小学校外国語活動・外国語の授業づくり —つながりを意識して—
【小・中学校授業力向上リーダー養成長期研修 外国語】太子町立磯長小学校
- 講演 「資質・能力」の育成に資する指導と評価の在り方
山下 敦子（神戸常盤大学教授）

7. 障がいのある幼児児童生徒の学びを支える ICT

学校現場では、一人ひとりが端末を持ち、十分に活用できる環境の整備がすすめられようとしています。障がいのある幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた ICT 機器や先端技術の活用はどのように行えばよいのでしょうか。具体的な実践事例をもとにして、ICT 機器等を活用した授業の在り方について考察を行います。また、講演を通して、ICT 機器等をどのように活用すると効果的か、授業においてどのように位置付ければ良いのか、という観点から学びを支える ICT の活用について認識を深めます。

- 講演 ICT を活用した授業における教員と子どものコミュニケーションの大切さについて
小田 浩伸（大阪大谷大学教授）
- 講演 学習支援アプリの指導と評価での使い方
ワーキングメモリから考える体験活動の認知的効果
仲矢 史雄（大阪教育大学教授）

- 実践発表 集団におけるタブレット学習の成果と課題
府立和泉支援学校
- 実践発表 VRゴーグルを使用した SST の実践報告
府立なにわ高等支援学校
- 実践発表 視線入力を活用して他者とのかかわりを楽しむー重度重複障がい児へのコミュニケーション支援ー
府立藤井寺支援学校
- 実践発表 GIGA スクール時代のスイッチ教材ー重度重複障がいのある児童生徒にとっての1人1台端末の活用ー
府立中津支援学校

8. 小中学校における不登校児童・生徒への支援の在り方 ー多様で適切な支援を探るー

近年、大阪府の不登校児童・生徒数は全国同様、年々増加傾向にあります。小中学校における不登校児童・生徒への多様で適切なアプローチや支援等について、共有化を図ることをねらいとし、各関係機関からの情報提供や、教育支援センター（適応指導教室）における取組みの実践発表、不登校支援に携わる方々のパネルディスカッションを実施し、これからの不登校支援について、学校のヒントとなる取組みをお伝えします。

- 情報提供
不登校支援に関わる関係機関等より
- 実践発表
「不登校対策ワーキング委員会」より
- パネルディスカッション
教育支援センターに関わる教員や SC・SSW、関係機関等より